

2008(平成 30)年 6 月 18 日

南笠東小学校 3年生

ゆめやま ~マイタウン南笠東~

おおかみがわかせんこうえん
狼川河川公園のお話



「水とみどりのまちづくり」事業を通して

ちいきかんきょう うつ か み
地域環境の移り変わりを見てみましょう

語り部

南笠東学区自治連合会

会長 川瀬 善行

◎ 私たちの住んでいる近くに 子どもから高齢者までが楽しめる場所が欲しい!

草津市には「矢橋の帰帆島」や「ロクハ公園」・「烏丸半島」のように多くの人々が楽しめる場所がありますが、南笠東学区は草津市の南の端にありますので、老人や子どもにとってはとても遠い所でした。

ここに住んでいる人たちの「私たちの近くに憩える場所を作って欲しい」という思いを草津市に伝えてもすぐには実現しませんでした。



◎ 弁天池水辺歩道をきっかけにして

2007(平成 19)年に南笠東学区で課題としていた弁天池に歩道を作ることを草津市に提案しました。

弁天池は、ため池で、狼川と接していることから治水の役割や利水として農地に必要な水を供給していることから、地元の関係者との協議を重ねました。そして、2002(平成14)年大字南笠にある7つの町内会と財産区管理委員会・農業生産組合の代表者が連名で、草津市に対し『行政と住民で作る推進委員会』の設置を要望しました。

これを受けて、2005(平成17)年に草津市と地域の協働プロジェクトがスタート。平成19年草津市は工事を着手し、2009(平成21)年1月末に水辺歩道が完成しました。

このとき、地域の環境を良くしていくためには、自分の考えることを行政(市役所)や地域の人に伝えて話し合うことで、目標に近づいていくという「パートナーシップ型社会」の形が見えたように感じました。



【治水】・・・洪水などの備え 狼川とため池

狼川の水は、普段は水は多く流れていません降水量が多いと水かさが増えて洪水などの危険にさらされます。狼川の周辺には、一挙に下流に水がいかないように多くの貯め池がありました。

【利水】・・・お米の生産に欠かせない水 農業用水

お百姓さんにとって水はとても大切です。ため池に蓄えられた弁天池の水は、お米をつくる田んぼに注がれていて、今も、農業生産組合の役員さんが水の管理をされています。

◎ 「わおんの広場」の整備^{せいび}

^{みなみかさひがしがつく}南笠東学区は、1999(平成 11)年に玉川地区が分かれて^{でき}出来ました。

^{みなみかさひがしがつく}南笠東学区の人たちには、このまちの特色を活かした新たなまちを作っていこうとする^{いきご}意気込みが感じられました。

^{いこ}憩える場所づくりは、通称「五差路」と呼ばれていたところに、『^{みず}水に親しむ^{した}階段』を作るところから^{はじ}始まりました。



そして、南笠東小学校の20周年記念事業として『環境モニュメント』が作られました。

「わおんの広場」という名前は、小学校の^{じどう}児童によるものです。

応募作品には、『^な狼(おおかみ)の^{こえ}鳴き声「わをーん」』と書かれていました。とても響きが良かったので、響き合う「和音」に置き換えて『わおんの広場』と名づけました。

^{かいだん}階段をおりて^{かんさつ}川の^{ちいききょうどうがっこう}観察をしたり、^{うんどう}地域協働^{さんか}合校の花いっぱい運動に参加する^{げんき}元気な子ども^{たち}達の^{すがた}姿は、まちを^{あか}明るくしてくれています。

^{みなみかさひがしがつく}南笠東学区のまちづくりスローガン『^{すてき}素敵な^{であ}出会い みんなで^{つく}創る^{ころ}まち』は、この頃に作られました。

南笠東小学校は、1989(平成元年)に開校しました。南笠東まちづくりセンターは1999(平成11年)に南笠東市民センター・公民館として建設されています。今年(2019年)は小学校30周年、まちづくりセンターの施設20周年の節目となります。これを記念として狼川河川公園に小学5年生の児童が考えたモニュメントが置かれる予定となっています。

◎ 「水とみどりのまちづくり」の政策

「水とみどりのまちづくり」は、今から10年ほど前に、草津市が目指すまちの姿(第5次総合計画)のひとつとして取り上げられました。

南笠東学区では、これまで進めてきた方向と重なりあう部分が多かったので、『狼川』の全域を観察しました。

そして、目にとまったところが、京滋バイパスから山手側の場所でした。

雑草と竹藪でおおわれところでしたが、今から50～60年ほど前に「子どもの遊び場所となっていたことを思い出して、以前のように遊べる場所を作りたいと思う気持ちが膨らみました。



やがて、この夢は、滋賀県と草津市そして地元の住民で進める、協働のまちづくりのモデルケースをとって進めることとなりました。

計画の中心となったのは、学区の町内会長・市議会議員のメンバーと草津市から都市計画課・河川課・公園緑地課・道路課が一緒になって取り組むチームができました。

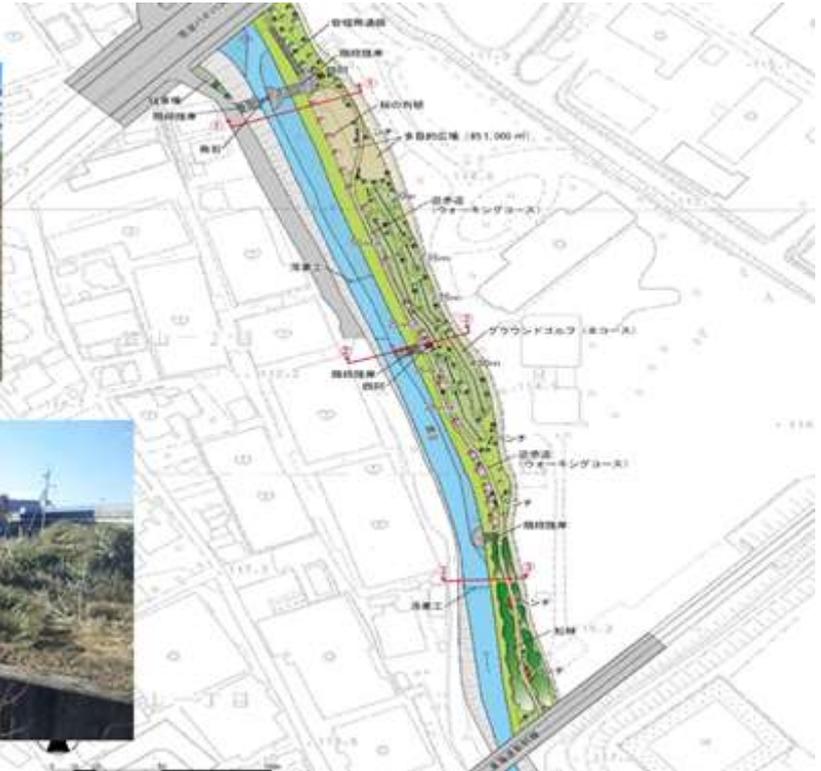
このチームを「未来・夢プロジェクト委員会」と名づけました。



度重なる協議の結果、次の方針ができあがりしました。

ほうしん 方針1	ちすい 『治水』	あんぜん あんしん かせんくうかん そうしゅつ 安全・安心な河川空間の創出
ほうしん 方針2	しんすい 『親水』	みず した ば そうしゅつ 水に親しめる場の創出
ほうしん 方針3	こうりゅう 『交流』	ちいき かつどう あそ いこ そうしゅつ 地域のシンボルとなる活動や遊びと憩いの場の創出
ほうしん 方針4	しぜんかんきょう 『自然環境』	しぜんかんきょう ほぜん さいせい そうしゅつ 自然環境の保全と再生・創出
ほうしん 方針5	いじかんり 『維持管理』	ちいきじゅうみんみずか ちいき みず みどり まも はぐく かつどう 地域住民自らが地域の水や緑を守り育む活動 に参加できる空間づくり

2011(平成 13)年に工事がはじまりました



そして、公園づくりがスタートしました。

地域の人たちに関心をもっていただくための体制づくりをはじめました

未来・夢プロジェクトの軌跡 第1次(H23.8~H27.3)

2013(H25)年9月18日
草津市(公園緑地課・景観課)・学校(南笠東小学校・立命館大学)と連携したプロジェクトチームがスタートしました。

話し合って決めた 整備の目標

多目的広場

グラウンドゴルフが楽しめるエリア

親善や自然と楽しめるゾーン

プロジェクト委員会は、この事業をみんなに知ってもらうために、次の事を行いました。

市長とまちづくりトークで状況の報告
 河川の活用を考えるワークショップ
 地域で彩るコラボレーションで発表
 河川に飾る巨大な陶板モニュメントの制作
 完成を祝う行事の計画



そして、2015(平成27)年3月に河川公園の工事が完成しました。

完成を祝う行事が行われました。



2015(平成27)年3月4日に狼川河川公園で
除幕式を行いました！

みんなの書いたメッセージを乗せた風船は、高く舞い上がり、なかには東京まで届くものがありました。

地域の人たちと南笠東小学校の全児童が集まりました。



メッセージバルーン『未来に伝える夢風船』

風船に、こちらの電話とメールアドレス・子どもたちのメッセージを書いた紙をとりつけて飛ばしました。

4月28日と5月15日に

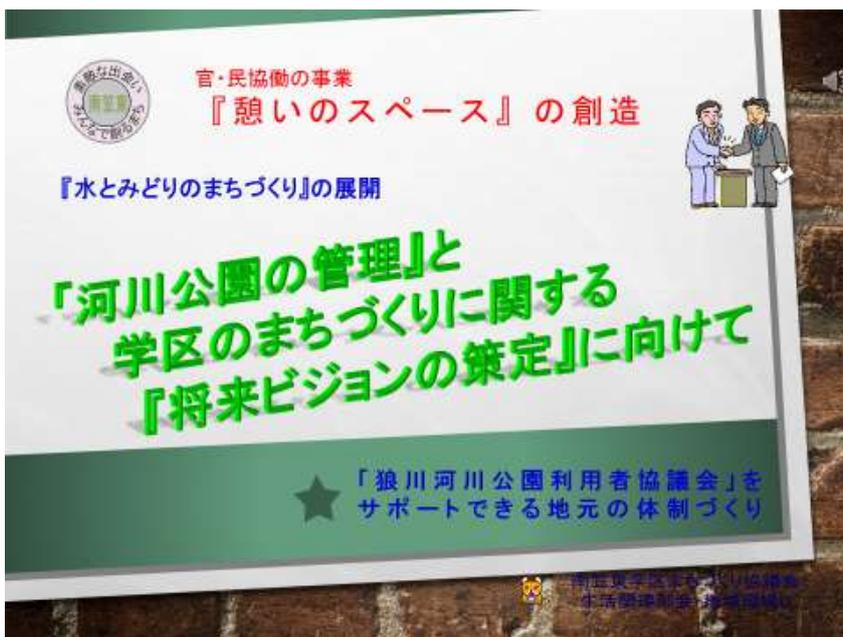
あつたか〜い おたより

が届きました。
いずれも東京都大田区からです。

私は訪問看護師をしています。
3月のある日、訪問先のおじいちゃんと外を歩くりいびりをしていたときに『夢風船』を見つけました。
場所は東京都大田区矢口 多摩川のそばの住宅街の道に落ちていました。
随分遠くまで飛んできましたね。
私とおじいちゃんも地図でどこから飛んできたのか確認しました。
そして、こんな長い距離を飛んできた夢風船に出会えてなんとなく幸せな気持ちになることができました。

幸せな気持ちを与えてくださったことへの感謝の気持ちと夢風船をみつけたご報告を兼ねメールさせて頂きました。

◎「水とみどりのまちづくり」の、これから……



河川公園の完成は、『水とみどりのまちづくり』のスタートの時でもあります。完成した公園が、安全で安心なところでないといと利用には適しません。地域住民の人々から、外灯がないので、夜は暗くて危険だ。水道がないので、手を洗う場所がないなどの声が寄せられました。

芝生を植えても水がない



ので、うまく育たない。グラウンドゴルフコースにフェンスをつけて、ボールが川に転がり落ちないようにしてほしい。雨が降ると多目的広場の土が水で流されるなど、改善を求める声もたくさんありました。

このような課題を解決するために、あらたにごみ減量推進課に加わって

ただいて、再び未来・夢プロジェクト委員会が動き出しました。

道路と公園の境にフェンスをつくったり多目的広場にも芝生を植えて少しずつ形が整ってきました。また、公園の管理を少ない人間でも行えるように、車にのって作業ができる乗用芝刈り機を購入したり、川から水をくみ上げてタンクに保存し、ここから芝生の水やりができるようにポンプで水を送る装置を考えました。

また将来に向けて、ひとびとの繋がりをより強くしていくために、町内会・学校・施設・企業に呼び掛けて『夢運河』という機構をつくり、情報の共有や事業の協力を得やすくすることや地域のボランティアの人によって日常の管理ができる体制も出来てきました。



まちづくりエージェンシー『夢運河』の成果物

企業様との結びつき 立命館大学(地域連携課)を通じた地域の繋がりが

地域のパネル展 滋賀銀行 南笠支店のお客さまロビー

まち歩き 清掃 ボランティア活動 狼川河川公園の出発ゲート(女子陸上部)

児童校 鉄壁の足守 スクールガード アメリカンフットボール部(パンサーズ)

地域環境整備の下支え 地域ボランティア『なかま』

地域ボランティア『なかま』は、南笠東学区自治連合会がすすめる地域環境整備の分野を支援することにより地域住民の快適な生活を維持するとともに円滑な住民自治の推進とまちの活性化に貢献することを目的として、次の事業に取り組んでいます。

1. 公共的な広場の除草活動
2. 通学時の子どもの見守り
3. 上記に関連または付帯する事業

草津市ボランティアセンター登録証

社会福祉法人草津市社会福祉協議会 草津市ボランティアセンターに登録していることを示す。

1	登録番号	30-151
2	団体名	地域ボランティア『なかま』
3	代表者名	中尾 輝
4	登録期間	平成30年5月29日～平成31年5月31日

草津市ボランティアセンターに登録することで、以下の特典が受けられます。

1. 草津市社会福祉協議会がボランティア活動の権利
2. 各種ボランティア活動の参加
3. 活動経費等の補助
4. ボランティアセンター・市民センターの施設貸付は無料
5. 福祉サービスの優待

平成30年5月29日
社会福祉法人草津市社会福祉協議会
会長 清水 和博